



人権教育だより

京丹後市立大宮中学校

令和6年 12月 18日

No.15



大宮中学校 人権意見発表会&講演会

第II部 人権講演会

(文章の一部は、編集しています)

No.1

人権のつどい

「人権のつどい」の第II部は、日本財団パラスポーツサポートセンターが行っている「あすチャレ！ジュニアアカデミー」から、講師として西崎哲男（にしぎき てつお）様に『パラアスリートと共生社会を学ぶワークショップ型授業』をしていただきました。講演後に感想を書きましたが、多くの気づきや学びがあったことが伝わりました。一部になります紹介します。

障がいのある人を特別扱いすぎないことを意識して生活したい。

もし自分が西崎さんの立場になったら、立ち直れないだろうし、目標も立てられないと思う。だけど西崎さんは新たな目標を立て続け、それを達成するために努力していることがすごい。これを機に自分も、夢を叶えるための第一歩として勉強を今は頑張りたいと思う。

(3年)

「障がいは少しの工夫やチャレンジで減らせる」ということが心に残った。できる・できないじゃなくて、できることに目を向けて、どんな人でも生きやすい社会を目指していきたい。みんなが楽しめるドッチボールのルールを作るときに、どうしたらみんなが楽しめるかというのを考えながら作ることができた。みんなが楽しめるというのは難しいけど、みんなで作っている感じがしたのがよかった。

私もこれからどんどんチャレンジしていきたい。

(1年)



お話を聞いている中で「障がいは少しの工夫やチャレンジで減らせる」という言葉がとても印象に残った。自分にとって不便だと思っていたことが工夫やチャレンジをすることによって「個性」として生まれ変わるから大切なことだと感じた。自分の可能性を信じて色々なことに挑戦していきたい。

ドッチボールのルールを考える時には、西崎さんや私たち全員が楽しめるもの考えることができた。誰もが納得して楽しめるルールを作ることは、障がいのある・なし関係なく共生していくことにつながると思った。

(2年)

私はこれまで、障がいを持ったらできることがほとんどなくなってしまうと思っていたが、今回の授業を通して「障がいは少しの工夫やチャレンジで減らせる」「できるかできないかではなく、どうやったらできるか」ということを考えることができた。

ドッチボールのルール決めでは、普段あまり考えないことや気付かないことに気付くことができた。

(3年)



てっちゃんは苦しい思いや泣きそうなことが何度もあったと思うが、それでもリハビリをしたり、自分から運動をしたりして諦めない強い心を持っているからこそここまでこれたんだと思った。僕はそんな話を聞いて、どんなことにも諦めない心を成長させていこうと思った。大中に来てくださりありがとうございました。次のパラリンピックも頑張ってください！

(2年)

てっちゃんの話や人権作文を聞くまで、「あの人が障がいがあるから手伝ってあげよう」や「障がいがあるからみんなとは違う」などと考えていた。でも話を聞いて、障がいがあるから特別ではなく、障がいがある人もない人もみんなが楽しめるようにすることが大切だと思った。

てっちゃんも僕たちも楽しめるドッチボールのルールを考えてみて、普段の生活では考えないことを考えたので、他の見方や考え方を発見することができた。

これからもパワーリフティング頑張ってください！

(1年)

ドッチボールのルール決めがとても良い経験だと感じた。今までは決められたルールをそのまま楽しんでいただけ、改めて障がいがある人もみんなと同じように楽しめるルールを考えるというとても貴重な経験ができてよかった。今日学んだことを活かして、人権というものをもっと理解できるように努力していきたい。

(3年)

私は人生での大きな転機はまだないけど、てっちゃんのような前向きな姿勢やチャレンジしようとする気持ちを見習いたいと思った。

みんなが楽しめるドッチボールのルールを考える時に、私はドッチボールが怖くて苦手だから嫌だったけど、利き手と違う方の手で投げるルールでやってみた時に球速が落ちていつもより楽しめた。こういう風に工夫することでみんなで楽しくできるとすごくいいなと思った。また、やっていく中でもっと工夫できることに気づいたから、そういう所もいいなと思った。たくさんの方に気付かせ、すごく楽しい時間だった。

(1年)

今まで何となくしか障がいのことを知っていなかったけど、今回改めて話を聞いて「できないことを見つけやらないのではなく、できることを見つけ、そのできることを精一杯頑張ればいいんだ」と自分なりに考えることができた。

困っているなら助ける、助け合うことが大切だと分かった。

今回の話を聞いて本当に良かった。分からなかったこと、今まで勘違いをしていたこと、間違っていたことなど、今回の時間を通して知ることができたんじゃないかなと思う。

(3年)



僕はてっちゃんの話聞くまで「障がいのある人は大変そう」という考えでいた。でも話を聞いてから「誰でもどんなことにもチャレンジできる」という考えに変わった。それはてっちゃんが言っていた「障がいは少しの工夫やチャレンジで減らせる」という言葉から。てっちゃんが車いすユーザーになってからも多くのことにチャレンジされていてものすごくすごいと思った。パワーリフティングでパラリンピックを目指されると聞いて、チャレンジは自分の魅力になるんだと学ばせていただいた。僕はこれから多くのことにチャレンジして自分を完成させていきたい。

(2年)

次回も引き続き第II部の感想特集です。
たくさん気づきや学びがあり、1枚には収まりませんでした！楽しみながらもしっかり学んでいたことが感想から伝わります！